

山梨スマートドライバー

第3回ミーティング

レポート

2014.5.21(水)

くるまと本

2014年5月21日、山梨県立図書館で、約30人の参加者を迎えて、山梨スマートドライバーの第3回ミーティングを行いました。今回のテーマは「くるまと本」。プレゼンターに甲府中心街の老舗書店、春光堂書店の宮川大輔さんをお招きしました。本や雑誌を通じた読書体験から「スマートドライブ」に役立つものは何か、ワークショップを通じて参加者全員で空想しました。



プレゼンター

春光堂書店
専務取締役

みやがわ だいすけ
宮川 大輔さん

1974年甲府市生まれ。甲府第一高校、静岡大学を卒業後、広告代理店を経て、2005年より甲府中心街の春光堂書店(甲府市中央1-4-4)に勤務。4代目にあたる。D&DEPARTMENT YAMANASHI by Sannichi-YBS、フルーツパーク富士屋ホテル、機山洋酒工業テイティングルーム、湯村歯科医院など本棚の選書に携わり順次拡大している。読書関連のイベントの開催、企業や大学などのワークショップの設計や人材育成の選書サービス、地域の読書環境をつくるための講演やシンポジウムにも多数参加。朝の勉強会「得々三文会」の運営にも携わる。活動の様子はYOUTUBEでも見られる。http://youtu.be/qAFpu2_YN_4



本を通じて甲府中心街を活性化 読書会や食事会などを主催

春光堂書店は甲府市春日居町の商店街にある、大正7(1918)年にできた書店です。プレゼンターの宮川大輔さんは四代目です。「知」という光を発信していくという名の通り、本を販売するだけではなく、さまざまな企画を実施したり、ホテルなどの本のセレクトや、伝統工芸とコラボしたブックカバーの販売なども手掛けています。「やまなし知会(ちえ)の輪 プロジェクト」と称し、地域で活躍している人たちがオススメする本を3冊ずつ、店頭でも紹介しています。その他、読書会や、本のタイトルにちなんだ食事会、朝の勉強会など多数主催。甲府市中心街から、本の魅力を伝える活動を日々、発信しています。



「教養とは他人の気持ち が分かること」 他人の気持ちを想像してみる

交通事故は、どんなに気をつけても、自分のコントロールできないところで、巻き込まれてしまうことがあります。公道では、他人がどんなことを考え、運転しているのか、分かりません。

読書で得られるものは何でしょうか。養老孟司氏は「教養とは他人の気持ち分かること」と言ってます。読書の効果は、他人の気持ちを疑似体験できることです。

そこで、他人の気持ちを想像してみます。公道にはスマートドライブに関心のない人たちもたくさん走っています。その人たちにスマートドライブのメッセージはきちんと届いているのでしょうか。自分のテリトリーを離れて、世界観が異なる雑誌の読者にメッセージを届けることを通じて、他人の気持ちになってみます。

雑誌「チャンプロード」読者に スマートドライブを伝える キャッチコピーを考えてみる

いわゆるヤンキーの皆さんが愛読している雑誌「チャンプロード」を題材にします。その読者の気持ちになって、スマートドライブがしたくなる広告のキャッチコピーを考えてみます。

関心のない層にメッセージを届けるために、他人の気持ちになってみます。

まずは、「チャンプロード」の読者の気持ちになって、私の趣味の楽しさを友人に伝える感じでキャッチコピーを考えてみます。

↓参加者のコピー案の一例

「風を切る、汗が飛ぶ!!」「動く、動かす、通う、通じ合う—それが走ること」「曲がってもいい、戻ってもいい、昨日より今日、今日より明日…少しだけ、前に進んでいた」「熱いギラギラの昭和改造魂を見よ」…。



編集長になり、企画を提案 スマドラ広告掲載を想定して キャッチコピーを考える

次は「チャンプロード」の編集長になって、斬新な企画を考えてみます。そして、「チャンプロード」に掲載することを想定したスマートドライバーの広告キャッチコピーを考えてみます。

↓参加者の企画案の一例

- ・高齢者への愛が生まれた「おじいちゃん、おばあちゃん元気だね」
- ・来年から、タイヤがいらぬ車が許可になります。まずはスマドラ限定です。

↓広告のキャッチコピー案の一例

「素魔怒羅 上等!!」「事故一発、後悔一生!!」「行かず! 相棒!」「いっしょに銀座を交通安全パレードしようぜ!!」「青春だけで終わりですか!!」「こんなナリでも安全運転!! 安全運転は面白れー!!」「想い通じよ、心動けよ、スマート運転!!」「スマドラを貫く!!」…。

公道には様々な車が走っている 他人の思いに気持ちを馳せて 安全運転につなげよう

公道を走っている他人のくるまから、様々な情報を読み取ることができます。

例えば、サッカーチームのステッカーを貼ったくるまや、「赤ちゃんが乗ってます」のシールが貼ってあるくるまなどが走ってます。その情報からは、ドライバーの趣味趣向や家族状況を読み取ることができてしまうんです。

どんな人が運転しているのかを想像してみると、他人への思いが膨らみ、他人の気持ちを考えられるきっかけになります。それが他人を思いやる気持ちに繋がるのではないのでしょうか。これからは、他のくるまがどんな思いで走っているのかを想像してみてください、それがスマートドライブに通じるはずですよ。



最後に、参加者全員で記念撮影



山梨スマートドライバーの第3回ミーティングに集まって頂いた皆様、ありがとうございました。また、今回はご参加できなかったけれども、いつも山梨スマートドライバーを応援して頂いている皆様、ありがとうございます。「おもしろいやり」を増やすことで交通事故を減らす。これからも山梨スマートドライバーをよろしくお願いします。

今回のポーズは、宮川さんが広めている「OPEN AND READ」で記念撮影しました。手を広げて、本を読むという仕草で、読書普及を呼び掛けるポーズです。



ご参加、ありがとうございました。

